

放課後等デイサービス 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年 3月 1日

事業所名 スタジオそら池上

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係が適切であるか	10	1	1	入れ替えのタイミングで玄関・待合スペースが混雑するため、入退室の人数を調整する
	②	職員の配置数は適切であるか	6	4	2	人員配置を満たしている
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10	2	0	引き続き、構造化に努めていく
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクルに広く職員が参画しているか	9	3	0	ケース会議以外にも、終礼時に子どもの様子など共有し、常に振り返りを行っている
	⑤	保護者向け評価表を活用するため等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	12	0	0	ソフト面に対しては、頂いた意見を取り入れ対応している
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	9	3	0	HPで公開している
	⑦	第三者評価による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	8	2	2	第三者評価は行っていないが、社内でチェック機能を作り、定期的に評価している
	⑧	職員の資質の向上のために、研修の機会を確保しているか	12	0	0	社内研修を実施している
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	11	1	0	アセスメントに時間を多くとり、情報収集はスタッフで手分けして行っている。保護者とじっくり話せる時間を設けたい
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	0	0	社内共有のアセスメントツールを使用している
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10	2	0	毎活動時、朝礼、昼礼、終礼の実施。話し合いで療育時の方向性を決めている。プログラムごとに担当者を割り振り、話し合いながら行っている
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	11	1	0	職員のスキルによって提供できるプログラムに差異があるため、先輩職員の持っている知識を周知する方法を検討する
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	5	7	0	今後順次計画していく予定
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	12	0	0	基本的には個別療育を中心に行っている。集団活動は、必要に応じて相談し、感染症対策を十分に配慮したうえで行なっている
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	0	0	打ち合わせ時に、当日だけではなく、前回の内容も合わせて共有している
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	12	0	0	終礼にて実施している
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	12	0	0	記録の書き方について、必要に応じて指導している
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	11	1	0	過去の記録をもとにモニタリングを実施している
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	11	1	0	ニーズや必要性を考慮しながら、活動内容を検討している

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	8	3	1	必要に応じて児発管が参加している
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時対応、トラブル対応)を適切に行っているか	6	5	1	保護者に確認している
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	2	6	4	特になし
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	2	9	1	保護者からのご要望がある時のみ実施している
	24	学校卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	2	7	3	該当する児童がいない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	5	3	大田区ネットワーク会議に参加してる。他事業所と情報交換や研修を行っている。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1	4	7	今年は感染症対策の為、例年行なっている、そらコンサートは実施せず。今後も感染症対策を考慮し実施の有無を決定していく
	27	地域自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	5	3	4	大田区ネットワーク会議を通して自立支援協議会等、関係機関と情報の要求を行なっている
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	0	0	今後も気軽にお声掛けいただけるような雰囲気を作っていく
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニングなどの支援を行っているか	4	7	1	ペアレントトレーニングに関しては未実施のため、状況を見て実施できるか検討していく
保護者への説明責任等	30	運営規定、支援の内容、利用者負担について丁寧な説明を行っているか	11	1	0	契約時に説明をしている
	31	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10	2	0	フィードバック時に伝えきれない場合は、電話でお話したり、後日面談を設定するなどして話す機会を設けるようにしている
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催することにより、保護者同士の連携を支援しているか	1	2	9	保護者のニーズを聞き取り、必要に応じて検討する
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制や整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	11	1	0	苦情はなかったが、ご意見・ご相談については迅速に対応している
	34	定期的に会報等を発足、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2	1	HP上にそら通信として、定期的に情報発信している
	35	個人情報に十分注意しているか	10	2	0	必要に応じて面談室などを使用している。今後も研修などで理解を深めていく
	36	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	11	1	0	子どもの理解度に合わせた指示の仕方など配慮している。また保護者の方には気軽に声を掛けていただけるように普段からのコミュニケーションをとることも意識している。手段や工夫の方法をより多く知れるよう研修を実施していく
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	3	6	例年そらコンサートを実施、地域の方にも参加してもらえようとしていたが、今年度は新型コロナウイルス感染対策の為実施できなかった。感染症等の状況を踏まえながら検討していく
非常時の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10	2	0	閲覧用マニュアルの設置を行うとともに、新型コロナウイルス対策についても掲示し周知している。職員に対しては、毎年読み合わせ研修を実施し内容の確認を行っている
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練を行っているか	9	2	1	新型コロナウイルス感染対策のため例年通りの実施ではなかった。今後も訓練・研修などで理解を深めていく
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	12	0	0	定期的(年2回)社内研修を実施し、理解を深めるとともに注意喚起をおこなっている
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて組織的に決定し、子ども・保護者に事前に十分説明し了解を得たうえで計画に記載しているか	12	0	0	現在対象になる児童がいないが、マニュアルに沿って対応していく
	42	食物アレルギーのある子どもについて医師の指示書に基づく対応がされているか	5	5	2	基本的に食事提供をしていないが、イベントなどで飲食がある場合は保護者に対応を確認するようにしている
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	1	0	ファイルを作成し、いつでも閲覧できるようにすることで注意喚起を行っている

この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。